

2012. 1
No. 243

千葉文化

CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY
千葉県立中央図書館報



資料散策 60

『上総九十九里地引網大漁獵正写之図』 昇亭北寿/画

〔寛政3年（1791）～文化元年（1804）〕刊行 形態 版画 1枚25×37cm

北寿は風景画を多く描いた絵師で、独自の描写法で描いた作品の題には「正写之図」「真写之図」の語が付されています。

九十九里浜の地引網漁業は、二艘の船が波打際まで引いた網を、陸から大勢で引き上げる漁法で、寛政期以降、大規模に行なわれました。獲れたイワシは干鰯（ほしか）という肥料に加工されました。房総は、漁獲地として知られ、かつ広大な農地を持つ関東平野に近かったことから、紀州などの上方漁民が出稼ぎや移住などの形で房総半島や九十九里沿岸に進出してきました。

企画展示



I LOVE ちば ALIVE ちば

～再生する千葉の魅力～ がんばろう！千葉



展示期間：平成24年1月5日（木）から3月15日（木）まで（※休館日は除く）

3月11日、日本中を大きく揺るがした東日本大震災で本県も甚大な被害を受けました。**千葉を元気に、千葉から日本を元気に**と「がんばろう！千葉」を合言葉に復興に取り組み始めた今、県立中央図書館では各地の復興や支援活動の情報を提供し、当館所蔵資料と展示パネルを通して歴史・文化・産業などの分野における**千葉の良さ、千葉のすばらしさ**を皆様実感していただけるよう、各関連機関の協力を得て、大企画展を行います。



上図、四つのエリア

展示内容の一部、被災状況についてご紹介します！

ベイ・東葛飾エリア

埋立地の多いベイエリアは液状化現象による被害が重大でした。ディズニーリゾートでは来園者の不安を和らげるための取り組みが行われました。

また京葉工業地帯で起こったコンビナートの火災は、3月21日に鎮火し、完全再稼動に向けて丁寧な確認作業が続けられています。

浦安の液状化現象



北総エリア

小江戸、水郷佐原は文人墨客が愛した美しい町並みが広がる地域です。震災時は利根川を海から遡上した波が襲い、建物は倒壊し、液状化現象が起きました。

銚子沖では津波が起き、水産加工団地を直撃したため、経済的にも大きな打撃を受けました。

佐原の町並み倒壊



南房総エリア

直接的な被害ではなかったものの花の時期、観光の始まりの時期にあった南房総にとって、観光の自粛ムードは大きな打撃となりました。

しかし、宿泊・商業者など官民一体となって行った「南房総あったかハートプロジェクト」で、1150万円以上もの義援金を生み出しました。

福島の水族館からアザラシを受け入れ、出産を支援した鴨川シーワールドの様子など温かい話をお届けします。



プロジェクトの黄色い旗

九十九里エリア

旭市は千葉県下で最も大きな被害を受けました。建物の全壊は県内被害の2/3以上を占め、今も尚、家を失った方々が、仮設住宅での避難生活を余儀なくされています。

津波は九十九里の漁船をのみこみ、50隻以上が被害を受けました。

また、停電のため、暖房機器が作動せず、ビニールハウスや温室で栽培していた農作物が全滅するなどの被害も見られました。

被災からの復興・支援活動を通して
千葉の魅力を展示でご紹介します。

3.11に講演会を行います

演題：「香取市の文化財建造物の被災と復興」

講師：香取市教育委員会 生涯学習課 川口 康氏

内容：伊能忠敬の旧宅をはじめ、香取市を代表する文化財や建造物の被害状況や再生について

日時：3月11日（日）14:00～ 定員60名

会場：中央図書館 講堂

1月5日より申込み受付開始
電話・直接来館にて受付

県立中央図書館で実施しているサービスのご紹介

ハンディキャップをお持ちの方へ

県立中央図書館では、図書館を使うことに障害のある方へさまざまなサービスを実施しています。サービスをご利用いただくためには登録が必要です。千葉県内にお住まいか、通勤・通学している方で、身体障害者手帳等福祉手帳をお持ちの方であれば登録することができます。福祉手帳をお持ちでない場合はご相談ください

1 録音図書

活字で読書が困難な方へ活字で書かれている図書・雑誌を音声化したものです。当館では、カセットテープ・CD・DAISY等様々な媒体を所蔵しています。

2 ポータブル音楽プレーヤーによる録音図書の貸し出し

携帯性にすぐれたオーディオ端末の特性を生かして、どこでも持ち運びができます。

3 点訳絵本

絵本の文字の部分に点訳した透明なシールを貼ったものです。視覚に障害のある人も子どもと一緒に楽しめるように工夫されています。

4 電子資料

パソコンで読書を楽しむことができる資料です。合成音声で内容を読み上げさせることや、表示する文字サイズを拡大することができます点が特徴です。

5 大活字本

弱視や高齢者向けに大きな活字で印刷した資料です。

6 対面朗読

活字で読書が困難な方にたいして、ご希望の書籍や雑誌を図書館が依頼した音訳者が読みます。

7 郵送による貸し出し

図書館に来館することが困難な場合、郵送による資料の貸し出しを行っています。資料の郵送を希望される方は職員までお問い合わせください。

8 さまざまな機器

「読み上げ対応パソコン」
音声で画面の情報を読み上げるパソコン



「拡大読書器」
活字を大きな文字で表示する器械です。

「読むべえ」
音声読み上げ機器



(主事 若菜 洋好)

県立学校等への宅配事業をスタートしました

県立中央図書館では、今年度9月から中央図書館エリアの県立高等学校・特別支援学校等へ宅配便で、直接、本を届けるサービスを始めました。このサービス事業の開始に伴い、授業で調べ学習をする際に役立つ図書資料をテーマ別に整備し、10~20冊のセット単位での貸し出しもスタートしました。ご利用の際には、お申込みが必要になります。

詳しくは、県立中央図書館 館外奉仕課までお問い合わせください。



宅配便に使う搬送用コンテナ

(主任主事 遠山憲一郎)



東金市立東金図書館 ルポルタージュ千葉60

～千葉県教育功労者表彰（団体）受賞～



新館に移転してから、30年目を迎えた東金市立東金図書館は、東金市の中央に位置し、市役所の敷地内にあります。エントランスホールは、高い吹き抜けから日差しが差し込み、明るく開放感にあふれ、親しみやすい図書館として、市民に愛されています。

市民の文化・教養の拠点としての図書館の活動が充実しており、昭和58年の市民講座の開講を皮切りに時代の要請や市民のニーズに応じたテーマを設定し、講演会を開設しています。招聘した講師の方々も、作家・アナウンサー・気象予報士等と多岐にわたっています。

また、次代を担う子どもたちへの読書支援にも力をいれ、毎週土曜日のおはなし会の他にも季節ごとに趣向を凝らしたおはなし会を開催しています。平成18年からは、市民によるボランティアを募り、母子一組につき一人の担当者がブックスタートを行っています。この事業では、絵本の良さを伝えられるばかりでなく、子育ての悩みを相談できる場も提供し、市民への手厚い子育て支援の一翼も担っています。小中学生への支援もきめ細やかです。特に平成22年度の国民読書年に企画した「読書すごろく」や「ちょっぴり図書館員」などの活動は、市民の読書への関心を一層高めました。

市内の全ての子どもたちに読書の楽しさを届けたいという趣旨で始まった移動図書館「ふれあい号」の運行も平成23年度で10年の節目を迎えています。

これらの様々な活動実績が実を結び、平成23年11月には栄えある「千葉県教育功労者表彰（団体）」を受賞されました。

おはなし会のお土産

（主査 濱岡 真紀）

東金市立東金図書館 利用案内

◆開館時間 午前9時～午後5時
（火曜日及び6～8月は

午前9時～午後7時）

◆休館日 月曜日・祝日の一部
第3木曜日・年末年始・特別整理期間

◆貸出券交付手続き

・住所・氏名の確認できるものをご持参ください。

※東金図書館本館と移動図書館『ふれあい号』で利用できます。

◆貸出利用冊数及び貸出利用期間

・本館と移動図書館あわせて
一般書 10冊
CD・ビデオ・DVD 2点
合計12点を2週間

東金市立東金図書館

〒283-0068 東金市東岩崎1-1

TEL 0475-50-1190



編集後記（日誌抄）

- ・昨年8月「森川家文書」は、千葉県文書館に移管されました。『生実藩主森川家旧蔵史料目録』に掲載されている520点の一部は、「資料の森」から検索できます。
- ・中央図書館の書庫狭隘化対策と併せて当館の設計者・大高正人氏の設計構想の原点への回帰も図り、館内の模様替えをしました。昨年11月には展示ホールや今日の新聞コーナーも本来の姿に戻しました。

■開館時間：一般資料室 火曜日～金曜日／9:00～19:00

土曜日・日曜日・祝日・休日／9:00～17:00

千葉県資料室・新聞雑誌室・児童資料室／9:00～17:00

■休館日：月曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその翌日）

第3金曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその前日）

年末年始（12月27日～1月4日）・特別整理期間

千葉県立中央図書館 TEL043-222-0116

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

〒260-8660 千葉市中央区市場町11-1

